

## 平成28年度 ホッケー教室

6月から11月まで全5回のホッケー教室 最終回はミニゲーム大会



ホッケー教室ミニゲーム大会が平成28年11月12日(土)、東京2020オリンピックのホッケー競技会場である大井ふ頭中央海浜公園(八潮 4-1-19)で開催されました。

ホッケー教室は、東京2020オリンピック区内開催競技であるホッケーを、多くの人に知ってもらい、競技に親しんでもらうことが目的。区内在住・在勤・在学でホッケー初心者の小学4年生以上を対象に、6月から11月まで全5回の教室が行われ、東京ホッケー協会の協力のもと、パス、ドリブル、シュートなど基本練習を中心に行ってきました。最終回となる今回は、これまで4回にわたって練習してきた成果を実践で披露するため、ミニゲーム大会を開催。33人の参加者が、小学生の部4チーム、大人の部4チームに分かれて、それぞれリーグ戦を行いました。

グラウンドを走り回って見事なシュートを決めた区立鈴ヶ森小学校6年の郡司悠克(はるか)さんは、昨年のホッケーフェスタでのMVP受賞をきっかけに、現在はホッケーチームにも所属しているそうです。「中学生になっても続けたい。オリンピックを目指します!」と力強く話し、2020年にこの会場に立つ自分の姿を思い浮かべているようでした。

アテネ、北京、ロンドンの3大会に連続出場した元さくらジャパンの藤尾香織さんも会場にかけつけ、「子どもたちが楽しんでプレーすることが、ホッケーの普及につながります。オリンピックが身近な目標になっているようでうれしい」と子どもたちのプレーを見ていました。

東京ホッケー協会の和田明仁会長は、「オリンピックが終わっても、ここのできる大井ホッケー競技場(仮)をレガシーとして生かし、日本にホッケー文化を根付かせたい。今後も品川区と協力して、ホッケー普及に努めます」と力強く語りました。

ミニゲーム大会後は、NPO法人メトロ東京ホッケー&アスリートクラブと藤尾さんによるエキシビジョンマッチも行われ、参加者は迫力のあるプレーに見入っていました。

